

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成21年2月12日

**【四半期会計期間】** 第76期第3四半期(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

**【会社名】** 塩水港精糖株式会社

**【英訳名】** Ensuiiko Sugar Refining Co., Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 浅倉三男

**【本店の所在の場所】** 東京都中央区日本橋堀留町二丁目9番6号

(上記は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記の場所で行っております)

**【電話番号】** 東京(03)3249局2381(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役総務人事部長 黒田一晴

**【最寄りの連絡場所】** 東京都中央区東日本橋一丁目1番5号

**【電話番号】** 東京(03)3249局2381(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役総務人事部長 黒田一晴

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次		第76期 第3四半期連結 累計期間	第76期 第3四半期連結 会計期間	第75期
会計期間		自 平成20年 4月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成20年 10月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成19年 4月1日 至 平成20年 3月31日
売上高	(百万円)	21,085	6,858	25,480
経常利益	(百万円)	786	201	833
四半期(当期)純利益	(百万円)	537	88	702
純資産額	(百万円)		4,213	4,887
総資産額	(百万円)		28,421	28,563
1株当たり純資産額	(円)		156.86	181.93
1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)	20.01	3.31	26.16
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)		14.8	17.1
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	285		1,055
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,819		66
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,205		932
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)		918	1,255
従業員数	(名)		93	86

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 従業員数は、就業人員数を記載しております。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社における状況

平成20年12月31日現在

従業員数(名)	93
---------	----

(注) 従業員数は就業人員であります。

### (2) 提出会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数(名)	50
---------	----

(注) 従業員数は就業人員であります。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高(百万円)
食品事業	3,026

(注) 1 金額は販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注実績

受注生産は行っておりません。

#### (3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(百万円)
食品事業	6,632
不動産賃貸事業	226
合計	6,858

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

### 3 【財政状態及び経営成績の分析】

#### (1) 財政状態

当第3四半期の総資産は前連結会計年度末に比べて141百万円減少し、28,421百万円となりました。これは、主に有価証券の時価下落等による投資有価証券の減少によるものであります。

負債合計は借入金の増加等により前連結会計年度末に比べて531百万円増加し、24,208百万円となりました。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べて673百万円減少し、4,213百万円となりました。これは主に投資有価証券の時価評価によるその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

#### (2) 経営成績

当第3四半期連結会計期間においては、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的金融不安を背景に、わが国の経済は円高と需要減退により広汎な産業分野において生産、設備投資、雇用などが低迷し、先行き不安から個人消費は伸び悩み、景気は減速感を一層強める状況で推移しました。

かかる状況の中、当社グループの業績につきましては、砂糖事業は、エネルギー原料の著しい高騰に伴う製造コストの上昇がありました。輸入原料糖の効率的な調達やビール系飲料の新規需要の開拓、採算重視の営業に努めました結果、第2四半期連結累計期間は売上高・経常利益とも計画を達成しましたものの、第3四半期に入り、経済環境の悪化に伴う急激な消費の低迷により厳しい販売競争を余儀なくされ、前年同期に比べ減収となりましたが、当第3四半期連結累計期間においては売上高・経常利益とも概ね計画通りに推移しました。

事業の種類別セグメントの業績につきましては、食品事業部門の売上高は6,632百万円（前年同期比193百万円減）、営業利益は386百万円（同56百万円減）となりました。不動産賃貸部門の売上高は226百万円（前年同期比15百万円増）、営業利益は45百万円（同0百万円減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間の業績につきましては、売上高は6,858百万円（前年同期比177百万円減）、連結経常利益は201百万円（同44.7%減）、連結純利益は88百万円（同63.2%減）となりました。

#### (3) キャッシュ・フロー

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上及び売上債権の増減額等により 311百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により 54百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の借入による収入等により595百万円となりました。

以上により、現金及び現金同等物の期末残高は918百万円となりました。

#### (4) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、33百万円であります。

なお、当第3四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、第2四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成20年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年2月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	35,000,000	同左	東京証券取引所 (市場第二部)	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 単元株式数は1,000株
計	35,000,000	同左		

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成20年10月1日～ 平成20年12月31日		35,000		1,750		345

(5) 【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。



(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成20年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 5,010,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 単元株式数は1,000株
	(相互保有株式) 普通株式 3,378,000		同上
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,586,000	26,526	同上
単元未満株式	普通株式 26,000		同上
発行済株式総数	35,000,000		
総株主の議決権		26,526	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が60,000株含まれており

ます。なお、「議決権の数(個)」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数60個は含まれ

ておりません。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式899株が含まれております。

3 当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、実質株主が把握できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成20年9月30日の株主名簿により記載しております。

【自己株式等】

平成20年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 塩水港精糖株式会社	東京都中央区日本橋 堀留町2丁目9-6	5,010,000		5,010,000	14.31
(相互保有株式) 株式会社パールエース	東京都中央区東日本橋1 丁目1-5	2,878,000		2,878,000	8.22
南西糖業株式会社	東京都千代田区岩本町3 丁目2-9	500,000		500,000	1.43
計		8,388,000		8,388,000	23.97

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	181	201	238	215	201	183	197	167	153

最低(円)	171	178	196	183	178	155	141	146	141
-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第2部におけるものであります。

### 3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

#### (1) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役		須田 洵	平成20年12月31日

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を適用しています。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	918	1,255
受取手形及び売掛金	2 2,264	2 1,527
有価証券	1 -	1 130
商品及び製品	977	919
仕掛品	162	291
原材料及び貯蔵品	808	628
繰延税金資産	97	65
その他	1,096	879
貸倒引当金	3	8
流動資産合計	6,322	5,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,245	7,867
減価償却累計額	3,888	3,708
建物及び構築物(純額)	5,356	4,158
機械装置及び運搬具	10,547	10,330
減価償却累計額	8,064	7,779
機械装置及び運搬具(純額)	2,482	2,550
工具、器具及び備品	305	293
減価償却累計額	258	252
工具、器具及び備品(純額)	47	40
土地	5,209	5,209
建設仮勘定	56	974
有形固定資産合計	1 13,152	1 12,933
無形固定資産		
のれん	25	40
その他	45	205
無形固定資産合計	70	246
投資その他の資産		
投資有価証券	1 7,252	1 8,904
長期貸付金	464	386
繰延税金資産	990	214
その他	168	188
投資その他の資産合計	8,876	9,693
固定資産合計	22,099	22,873
資産合計	28,421	28,563

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 793	2 647
短期借入金	16,747	15,129
未払法人税等	87	86
未払消費税等	37	103
賞与引当金	33	64
その他	1,234	2,118
流動負債合計	18,933	18,148
固定負債		
長期借入金	3,538	3,816
繰延税金負債	-	0
退職給付引当金	1,366	1,371
役員退職慰労引当金	199	186
その他	170	153
固定負債合計	5,274	5,527
負債合計	24,208	23,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	266	266
利益剰余金	5,538	5,136
自己株式	3,116	3,116
株主資本合計	4,438	4,036
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	230	981
繰延ヘッジ損益	5	131
評価・換算差額等合計	225	850
純資産合計	4,213	4,887
負債純資産合計	28,421	28,563

(2)【四半期連結損益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	21,085
売上原価	17,346
売上総利益	3,738
販売費及び一般管理費	3,225
営業利益	513
営業外収益	
受取利息	65
受取配当金	170
持分法による投資利益	265
雑収入	59
営業外収益合計	560
営業外費用	
支払利息	185
支払手数料	35
デリバティブ損失	65
雑損失	0
営業外費用合計	287
経常利益	786
特別利益	
投資有価証券売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
投資有価証券評価損	30
役員退職慰労金	3
特別損失合計	33
税金等調整前四半期純利益	753
法人税、住民税及び事業税	245
法人税等調整額	29
法人税等合計	215
四半期純利益	537

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	6,858
売上原価	5,488
売上総利益	1,369
販売費及び一般管理費	1,104
営業利益	265
営業外収益	
受取利息	22
受取配当金	0
持分法による投資利益	34
為替差益	45
雑収入	2
営業外収益合計	106
営業外費用	
支払利息	63
支払手数料	11
デリバティブ損失	95
雑損失	0
営業外費用合計	171
経常利益	201
特別利益	
投資有価証券売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
投資有価証券評価損	2
特別損失合計	2
税金等調整前四半期純利益	199
法人税、住民税及び事業税	156
法人税等調整額	45
法人税等合計	110
四半期純利益	88

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年12月31日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	753
減価償却費	667
のれん償却額	15
退職給付引当金の増減額(は減少)	4
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	12
賞与引当金の増減額(は減少)	30
貸倒引当金の増減額(は減少)	4
受取利息及び受取配当金	235
支払利息	185
為替差損益(は益)	6
持分法による投資損益(は益)	265
投資有価証券売却損益(は益)	0
投資有価証券評価損益(は益)	30
売上債権の増減額(は増加)	737
たな卸資産の増減額(は増加)	107
その他の資産の増減額(は増加)	119
仕入債務の増減額(は減少)	146
未払消費税等の増減額(は減少)	66
その他の負債の増減額(は減少)	215
小計	461
利息及び配当金の受取額	251
利息の支払額	182
法人税等の支払額	244
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>285</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	689
無形固定資産の取得による支出	0
投資有価証券の取得による支出	1,144
投資有価証券の償還による収入	130
投資有価証券の売却による収入	13
投資その他の資産の増減額(は増加)	0
貸付けによる支出	330
貸付金の回収による収入	201
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,819</b>



(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自平成20年4月1日  
 至平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	6,210
短期借入金の返済による支出	4,520
長期借入れによる収入	1,300
長期借入金の返済による支出	1,649
自己株式の取得による支出	0
配当金の支払額	134
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,205
現金及び現金同等物に係る換算差額	6
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	336
現金及び現金同等物の期首残高	1,255
現金及び現金同等物の四半期末残高	918

【継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)  
該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

会計方針の変更

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
<p>棚卸資産の評価に関する会計基準の適用</p> <p>「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。</p> <p>これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ2百万円減少しております。</p> <p>リース取引に関する会計基準の適用</p> <p>所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成5年6月17日最終改正平成19年3月30日企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会平成6年1月18日最終改正平成19年3月30日企業会計基準適用指針第16号)が、平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用しております。</p> <p>なお、第1四半期連結会計期間及び第2四半連結期会計期間におきましては、所有権移転外ファイナンス・リース取引が存在せず、当第3四半期連結会計期間より発生したため、当第3四半期連結会計期間から、通常の売買取引に係る会計処理を行っております。</p> <p>これによる損益への影響はありません。</p>

【簡便な会計処理】

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
固定資産の減価償却費の算定方法 固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見 積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期 間按分する方法によっております。 なお、定率法を採用している資産については、 連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分し て算定する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)  
該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
当社及び連結子会社におきまして、第1四半期連結 会計期間より、法人税法の改正を契機として資産の利 用状況等を見直した結果、機械装置の耐用年数を一部 変更しております。これにより、当第3四半期連結累計 期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純 利益は、それぞれ57百万減少しております。 なお、セグメント情報に与える影響は当該個所に記載 しております。

## 【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)																								
<p>(1)担保に供している資産 担保に供している資産のうち、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものは、次のとおりであります。</p> <p>(担保資産)</p> <table data-bbox="220 454 580 483"> <tr> <td>投資有価証券</td> <td>2,324 百万円</td> </tr> </table> <p>上記の他、先物取引証拠金等として、投資有価証券144百万円、流動資産の「その他」249百万円を差入れております。</p> <p>偶発債務 連結会社以外の会社の金融機関からの借入金に対する債務保証 太平洋製糖㈱ 1,831百万円 連結会社以外の会社の消費税の支払に対する再保証 太平洋製糖㈱ 120百万円</p> <p>(2) 期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当第3四半期連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、期末残高に含まれております。</p> <table data-bbox="150 1137 608 1187"> <tr> <td>受取手形</td> <td>18百万円</td> </tr> <tr> <td>支払手形</td> <td>58百万円</td> </tr> </table>	投資有価証券	2,324 百万円	受取手形	18百万円	支払手形	58百万円	<p>(1)担保に供している資産 担保に供している資産は次のとおりであります。</p> <p>(担保資産)</p> <table data-bbox="858 454 1370 674"> <tr> <td>有価証券</td> <td>60百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物及び構築物</td> <td>3,831 "</td> <td>(3,831百万円)</td> </tr> <tr> <td>機械装置及び運搬具</td> <td>2,522 "</td> <td>(2,522 " )</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>3,270 "</td> <td>(3,270 " )</td> </tr> <tr> <td>投資有価証券</td> <td>3,044 "</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12,728 "</td> <td>(9,624 " )</td> </tr> </table> <p>( )書きは内書で、工場財団抵当を示しております。</p> <p>上記の他、有価証券のうち60百万円は、輸入糖調整金支払保証の担保に、投資有価証券のうち74百万円は取引証拠金の担保に供しております。</p> <p>偶発債務 連結会社以外の会社の金融機関からの借入金に対する債務保証 太平洋製糖㈱ 2,054百万円 連結会社以外の会社の消費税の支払に対する再保証 太平洋製糖㈱ 120百万円</p> <p>(2)</p>	有価証券	60百万円		建物及び構築物	3,831 "	(3,831百万円)	機械装置及び運搬具	2,522 "	(2,522 " )	土地	3,270 "	(3,270 " )	投資有価証券	3,044 "		合計	12,728 "	(9,624 " )
投資有価証券	2,324 百万円																								
受取手形	18百万円																								
支払手形	58百万円																								
有価証券	60百万円																								
建物及び構築物	3,831 "	(3,831百万円)																							
機械装置及び運搬具	2,522 "	(2,522 " )																							
土地	3,270 "	(3,270 " )																							
投資有価証券	3,044 "																								
合計	12,728 "	(9,624 " )																							

(四半期連結損益計算書関係)

第3四半期連結累計期間

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
(1) 販売費及び一般管理費の主なもの	
製品保管輸送費	779百万円
販売促進奨励金	643 "
給料手当賞与金	428 "
賞与引当金繰入額	30 "
退職給付費用	59 "
役員退職慰労引当金繰入額	37 "
減価償却費	189 "

第3四半期連結会計期間

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
(1) 販売費及び一般管理費の主なもの	
製品保管輸送費	268百万円
販売促進奨励金	233 "
給料手当賞与金	123 "
賞与引当金繰入額	30 "
退職給付費用	27 "
役員退職慰労引当金繰入額	11 "
減価償却費	73 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
(1) 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
現金及び預金	918百万円
現金及び現金同等物	918百万円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	35,000,000

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	8,138,389

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成20年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	149	5	平成20年3月31日	平成20年6月30日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当第3四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)

時価のある其他有価証券が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、当該有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額に前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が見られます。

其他有価証券で時価のあるもの

区分	取得原価(百万円)	四半期連結貸借対照表計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	4,471	4,519	47
債券	1,000	627	372
その他			
計	5,471	5,147	324

前連結会計年度末(平成20年3月31日)

其他有価証券で時価のあるもの

区分	取得原価(百万円)	連結決算日における連結貸借対照表計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	4,370	6,026	1,655
債券	1,000	1,000	
その他			
計	5,370	7,026	1,655

## (デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)

## デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

対象物が通貨及び商品であるデリバティブ取引は、当社の事業運営において重要なものとなっており、契約額その他の金額に前連結会計年度の末日に比して著しい変動がありましたので記載しております。

## (1) 通貨関連

種類	契約額等(百万円)	時価(百万円)	評価損益(百万円)
為替予約取引			
売建 米ドル	657	579	78
買建 米ドル	190	183	7
合計			70

(注) 時価の算定方法は、当第3四半期連結会計期間末の先物相場の終値を使用しており、評価損益は四半期連結損益計算書に計上しております。

## (2) 商品関連

種類	契約額等(百万円)	時価(百万円)	評価損益(百万円)
粗糖先物取引			
売建	849	694	154
買建	940	667	272
粗糖オプション取引			
売建			
プット	19		
(オプション料)	(1)	(2)	( 1)
合計			118

(注) 時価の算定方法は、当第3四半期連結会計期間末の先物相場の終値を使用しており、評価損益は四半期連結損益計算書に計上しております。また契約額等はデリバティブ取引のリスクそのものを示すものではありません。

なお、ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は記載しておりません。



前連結会計年度(平成20年3月31日)

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

(1) 通貨関連

種類	契約額等(百万円)	時価(百万円)	評価損益(百万円)
為替予約取引			
売建			
買建	30	29	0
合計			0

(注) 時価の算定方法は、当連結会計年度末の先物相場の終値を使用しており、評価損益は連結損益計算書に計上しております。

(2) 商品関連

種類	契約額等(百万円)	時価(百万円)	評価損益(百万円)
粗糖先物取引			
売建	499	477	21
買建	363	339	23
合計			1

(注) 時価の算定方法は、当連結会計年度末の先物相場の終値を使用しており、評価損益は連結損益計算書に計上しております。また契約額等はデリバティブ取引のリスクそのものを示すものではありません。

なお、ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は記載しておりません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	食品事業 (百万円)	不動産賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,632	226	6,858		6,858
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	6,632	226	6,858		6,858
営業利益	386	45	431	(166)	265

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	食品事業 (百万円)	不動産賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	20,415	669	21,085		21,085
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	20,415	669	21,085		21,085
営業利益	926	122	1,049	(536)	513

(注) 1 事業区分は、製品系列により決定しております。

2 各事業の主要製品

事業区分	主要製品
食品事業	砂糖、オリゴ糖、サイクロデキストリン
不動産賃貸事業	工場賃貸

3 追加情報

当社及び連結子会社におきまして、第1四半期連結会計期間より、法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、機械装置の耐用年数を一部変更しております。この変更に伴い当第3四半期累計期間の不動産賃貸事業の営業利益が57百万円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
156.86円	181.93円

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

第3四半期連結累計期間

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純利益	20.01円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円)	537
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	537
普通株主に帰属しない金額(百万円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,861

第3四半期連結会計期間

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純利益	3.31円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、 潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円)	88
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	88
普通株主に帰属しない金額(百万円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,861

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月12日

塩水港精糖株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 内 田 英 仁 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山 口 俊 夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている塩水港精糖株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、塩水港精糖株式会社及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。